



寄付研究講座一覧

2026年6月1日現在

講座名称	寄付者	設置期間	設置目的・概要	講座主任	教員
パーキンソン病寄付研究講座	篤志家(匿名)	2022/10/1～2027/3/31 (4.5年)	昨今、パーキンソン病患者数の急増(パーキンソン病パンデミック)を認めており、当該疾患の克服および健康寿命の延伸は喫緊の課題である。本講座では、未だ根治的治療法の存在しないパーキンソン病に対する革新的治療法を確立することを目標に、基礎臨床一体型研究を展開するとともに、研究活動を通じた人材育成に努め、社会に貢献することを目的とする。	中原 仁	
ブリヂストン臓器再生医学寄付研究講座	株式会社ブリヂストン	2023/10/1～2026/9/30 (3年)	難治性心疾患、重症心不全は予後不良であり新しい治療開発が求められている。難治性心疾患、重症心不全等の病態解明、および近年目覚ましい進歩を遂げている先進カテーテル治療、遺伝子治療、再生医療の開発に関する研究を行い、心臓病治療のさらなる発展に貢献するとともに、次世代を担う若手人材育成を行うことを目的とする。	家田 真樹	特任講師 小平真幸 特任助教 木村舞
サントリー心臓再生医学寄付研究講座	サントリーホールディングス株式会社	2024/4/1～2029/3/31 (5年)	心不全は病態解明も不十分な疾患であり、近年増加傾向で大きな社会問題となっている。新しい治療法開発には循環器疾患の病態をよく理解し、さらに遺伝子細胞治療、心臓再生医療、低侵襲性カテーテル治療などに関する先端的な研究を行う必要がある。本講座設置により先進的心臓再生治療の開発や心疾患の病態解明を行うとともに、若手教育や次世代の循環器医育成を行うことを目的とする。	家田 真樹	特任講師 橋本寿之
在宅医療テクノロジー推進寄付研究講座Ⅱ	株式会社フィリップス・ジャパン	2024/4/1～2027/3/31 (3年)	効率的なモニタリングシステムの構築、新規診断・治療機器の開発など在宅医療テクノロジーを世の中に推進・啓発していくとともにこれに関わる医師・看護師の育成を目的とし運営をおこなう。	福永 興杏	研究員 増田知佳
先進炎症性腸疾患治療開発教育学寄付研究講座Ⅱ	杏林製薬株式会社 ゼリア新薬工業株式会社 株式会社JIMRO ミヤリサン製薬株式会社 持田製薬株式会社	2024/4/1～2027/3/31 (3年)	腸管における自律神経の機能に着目し、炎症性腸疾患の病態解明や新規治療法のシーズ開発から臨床開発に進展する研究を推進し、また、それらの研究活動を通じた人材の育成を目的とする。	金井 隆典	特任准教授 寺谷俊昭 研究員 石原由美
不整脈先進治療学寄付研究講座Ⅲ	日本メトロニック株式会社 日本ライフライン株式会社 ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社 アボットメディカルジャパン合同会社 バイオトニックジャパン株式会社	2024/4/1～2027/3/31 (3年)	臨床心臓電気生理学の研究による不整脈の機序解明、カテーテルアブレーションや3次元マッピングシステムを用いた新たな治療方法、および種込み型心臓電気デバイスをを用いた新しい不整脈治療法や心不全の治療法の開発、発展に寄与するとともに、これらの研究活動を通じ、社会に貢献し得る人材を育成することを目的とする。	家田 真樹	特任教授 高月誠司 特任講師 西山崇比古
腸脳関連治療開発寄付研究講座	ミヤリサン製薬株式会社	2024/10/1～2027/3/31 (2.5年)	腸内細菌、腸管免疫および神経系をキーワードに、新たな炎症性腸疾患研究の基盤構築および経験豊かなベンチサイドからの気付きを最大限に活かした高度に実用的な臨床の実現、臨床研究への応用を目指し、さらに、基礎研究を熟知した高度な専門性を有する医師・研究者を創出することを目的とする。	金井 隆典	特任教授 小林拓
呼吸器疾患と食に関する寄付研究講座	大正製薬株式会社 栗田アセットマネジメント株式会社	2025/4/1～2028/3/31 (3年)	呼吸器疾患と食生活の重要性を創出するトランスレーショナルリサーチの基盤構築を醸成し、世の中に推進・啓発していくとともに、これに関わる医師・看護師の育成を目的とする。	福永 興杏	



慶應義塾大学医学部・医学研究科 寄附講座／寄付研究講座／共同研究講座

先進運動器疾患治療学寄付研究講座Ⅱ	ニューベイスジャパン株式会社 セルソース株式会社 メダクタジャパン株式会社 ピー・ブラウンエースクラブ株式会社 京セラメディカル株式会社	2025/4/1～2028/3/31 (3年)	運動器疾患に対する先進治療に関する卒前・卒業教育を行うとともに、新しい薬剤、手術法や手術関連機器の開発研究を行う講座を開設することにより、最先端の運動器疾患治療学の確立を目的とする。	中村 雅也	特任教授 須田康文 特任教授 二木康夫 特任准教授 池澤裕子 特任助教 齊藤誠人 特任助教 山口さやか
全身性免疫難病克服寄付研究講座Ⅱ	旭化成ファーマ株式会社	2025/4/1～2028/3/31 (3年)	全身性免疫難病における免疫制御薬発展のため、基礎・臨床トランスレーショナル研究およびチーム治療の啓発と教育を推進し、全身性免疫難病患者診療および研究の質向上とそれらを通じた社会還元を目的とする。	金子 祐子	研究員 近藤晴美
慶應義塾大学 地域小児医療人材育成・調査寄付研究講座(埼玉県)Ⅵ	埼玉県、朝霞市、志木市、和光市、新座市 (寄附講座運営支援事業補助金)	2026/4/1～2027/3/31 (1年)	埼玉県、埼玉県朝霞地区第二次救急医療圏に属する4市(朝霞市・志木市・和光市・新座市)および独立行政法人国立病院機構埼玉病院の要請に基づき、同医療圏における小児医療体制(主として周産期医療)の充実を図るため、慶應義塾大学において人材の育成と確保、医療体制の整備に関して調査研究を行うことを目的とする。	鳴海 覚志	特任助教 太田昌志 特任助教 奥本尚樹 特任助教 福山隆博 特任助教 水野泰昭 特任助教 矢野方紀子
久光製薬運動器生体工学寄付研究講座Ⅵ	久光製薬株式会社	2026/4/1～2027/3/31 (3年)	運動器に対する生体工学的基礎・臨床観察研究を通じて、運動器疾患に対する新たな病態の解明、診断法・治療法の確立、および研究活動を通じた人材育成を行うことを目的とする。	中村 雅也	特任教授 名倉武雄 特任講師 中島大輔 研究員 伯川聡志
プリヂェストン循環器治療寄付研究講座	株式会社プリヂェストン	2026/4/1～2029/3/31 (3年)	心不全患者増に対し、個別化・最適な治療法の開発が必要である。心不全は国内120万人の患者がおり、癌と同程度に予後不良である。心不全はパンデミックとも呼ばれ大きな社会問題となっているが、現在の治療は十分でなく、新しい治療開発研究を行い、循環器治療のさらなる発展に貢献するとともに、次世代を担う若手人材育成を目的とする。	家田 真樹	
日本メジフィジックス核医学寄付研究講座Ⅱ	日本メジフィジックス株式会社	2026/4/1～2028/3/31 (2年)	核医学を用いた基礎医学的研究を通して、動脈硬化の進展機序を解明すると共に、進展を抑制する薬の効果判定法の確立を目指し、この研究を推進するとともに研究活動を通じた人材の育成を目的とする。	陣崎 雅弘	特任助教 堤啓 特任助教 橋本正弘



共同研究講座一覧

2026年6月1日現在

講座名称	共同研究者	設置期間	設置目的・概要	講座主任	教員
全人的漢方診断共同研究講座Ⅱ	株式会社ツムラ	2024/4/1～2027/3/31 (3年)	漢方薬の証診断に基づいた治療手段を最新のデータ収集技術や解析手法などと組み合わせて客観的な診断ができる仕組みを確立し、漢方薬をより精密化された個別化医療に応用することを目的とする。	金子 祐子	特任講師 吉野鉄大 特任助教 前田絢子 特任助教 上原萌美 特任助教 奥野智織 研究員 田澤川涼子 研究員 國吉貴子
先端医療開発教育基盤共同研究講座Ⅱ	シスメックス株式会社 株式会社メディカロイド	2025/4/1～2028/3/31 (3年)	国内内視鏡下手術用ロボットhinotori を中心とした先進性および安全性を兼ね備えた手術プラットフォームに関する研究開発するとともに、その教育基盤を形成することを目的とする。	志水 秀行	研究員 牛江公位 研究員 塩田美津子 研究員 青木実摘 研究員 小畑 慶子
未病対策食共同研究講座Ⅱ	日清食品株式会社	2025/10/1～2028/3/31 (2.5年)	現代人に多く見られる腸の不調に対し、腸内環境と栄養の相互作用を分子栄養学の観点から科学的に解明し、改善に資する最適化栄養食の開発を目指す。	金井 隆典	研究員 高安 奈緒子
腎臓病対策食共同研究講座	日清食品株式会社	2026/4/1～2029/3/31 (3年)	増加の一途をたどる慢性腎臓病患者において、栄養状態および各種健康状態の変化を観察することで、慢性腎臓病と栄養状態の関係を科学的に解明し、改善に資する最適化栄養食の開発を目指す。	林 香	
医療システムイノベーション共同研究講座	一般社団法人National Clinical Database 武田薬品工業株式会社	2026/6/1～2029/3/31 (2年10か月)	日本においてValue-based healthcareの概念に基づいた医療システムの改革医療政策の提案を実施するための実証的エビデンス構築の研究を推進することを目的とする。本研究により、今後より価値に基づいた政策の意思決定や、日本の持続的な保健医療システム医療保険制度の設計に貢献する。	宮田 裕章	特任教授 立森久照 特任助教 平川信也